

給与R4 国税年末調整アプリ連携 小規模企業共済等掛金控除の集計値不正について

日頃は、弊社製品をご利用くださいます、誠にありがとうございます。

さて、給与 R4 Ver. 20.10において 国税年末調整アプリ連携を使用して保険料控除申告書を受入すると小規模企業共済等掛金控除の集計値が不正になる問題が確認されました。つきましては、障害の内容につきまして、下記のとおりご連絡いたします。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、内容をご確認いただきますよう、お願いいたします。

お客様にご迷惑をお掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

1. 障害の内容

【現象】

令和2年分データで国税年調アプリ連携により保険料控除申告書を受け入れる際、受入データに小規模企業共済等掛金控除の金額が含まれる場合、集計値が不正になり、受入後に「年末調整計算」をしても改善されません。対象の従業員で保険料控除申告書を印刷すると小規模企業共済等掛金控除の合計（控除額）欄が「上書入力」になります。

■ 保険料控除申告書の設定

	種類	保険料の金額
小規模企業共済等掛金控除	(独)中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	0
	確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	0
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	270,000
	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	0
	合計（控除額）	270,000

■ 年末調整／一覧入力

控除額等	社会保険の申告額	0
	（うち国民年金等）	0
	小規模共済申告分	270,000
	生命保険料控除	40,000
	地震保険料控除	0

■ 保険料控除申告書（印刷）

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	270,000
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計（控除額）	円 [上書入力]

現象が発生すると「保険料控除申告書の設定」や「年末調整／一覧入力」では正しい金額が表示されますが、保険料控除申告書を印刷すると合計欄に「上書入力」が表示されます。

本来は270,000円で表示されるべきところ、誤って合計が0円と計算されるため、保険料控除申告書の計算結果と不一致になると判断され、「上書入力」と警告表示されます。

社会保険料控除の金額が不正になるため、その後の年末調整計算が正しく計算されません。

【発生条件】

国税年末調整アプリ連携を使用し、小規模企業共済等掛金控除を含む保険料控除申告書を受け入れた場合に現象が発生します。

【回避方法】

国税年末調整アプリ連携受入後に「年末調整／一覧入力」を編集し「確定」すると、集計値は正しくなります。

例えば、次の②～④の方法により回避することができます。

① 「設定」タブー「汎用データ」ー「他社システム連携」タブー国税庁 年末調整アプリ連携「年末調整データ受入」により、年末調整データを受け入れます。

② 「年末調整」タブー「年末調整／一覧入力」を開き、「小規模共済申告分」行を選択して「選択行上書」のチェックを付けます。「小規模共済申告分」行が上書（緑色）項目に変更されません。

※チェックを付ける前に「小規模共済申告分」が上書（緑色）項目になっている従業員がないことを確認してください。

	1	2	3	4	5
部門コード	000000	000000	000000	00200A	00200A
部門名	管理部	管理部	管理部	営業部	営業部
従業員コード	01SE01	EP5004	EP7001	EP0030	SE3301
従業員名	木村 敏明	勝山 孝次	時給 次郎	上原 進一	山本 丈二
(うち国民年金等)	0	0	0	0	0
小規模共済申告分	0	270,000	0	0	0
生命保険料控除	0	0	0	0	0
地震保険料控除	0	0	0	0	0
非課税所得控除	0	0	0	0	0

③そのまま「選択行上書」のチェックを外し、「小規模共済申告分」行が計算（水色）項目に変更されたことを確認します。

④従業員コード・従業員名の文字色が黒色から青色に変更されたことを確認し、「確定」をクリックします。メッセージが表示されますので「はい」を選択します。

⑤上記処理後に、保険料控除申告書を印刷すると、小規模企業共済等掛金控除の合計（控除額）欄が正しく印刷されます。

■保険料控除申告書（印刷）

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	270,000
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計（控除額）	270,000 円

<既に年末調整額を含めた12月の給与支給明細を支給済みの場合>

申し訳ありませんが、1月の給与明細で年末調整額の差額を調整していただく必要があります。次のように対応をお願いします。

①対象の会社データのコピーデータを作成します。

例：「001 A会社」を元に「002 A会社」を作成する場合

1. 「001 A会社」を選択し、[作成] → [会社コピー] をクリックします。
2. 共通基本情報選択画面が表示されます。「新規作成」を選択し、[確定] をクリックします。
※「登録済みの共通基本情報を参照する」を選択し、「001 A会社」の共通基本情報を選択はしないでください。
3. 共通基本情報設定画面が表示されます。[取込] をクリックします。
4. 共通基本情報を選択する画面が表示されます。「001 A会社」を選択して [選択] をクリックします。
5. 共通基本情報設定画面に戻ります。コードを「002」と入力して [確定] をクリックします。

②コピー元データで【回避方法】の手順により [年末調整／一覧入力] の処理を行います。

③ [年末調整／一覧入力] で「小規模共済申告分」に金額のある従業員を確認します。

④③で確認した従業員について、コピー元・コピー先で12月給与明細の年末調整額に違いがないか確認します。違いがある場合は、差額を手計算しメモします。

⑤翌年1月の給与明細を作成する前に給与パターンの控除項目に「年調調整額」を作成し④で計算した差額を入力します。還付する金額はマイナスで入力してください。

給与パターンに「年調調整額」を作成する方法

1. 繰越後の令和3年データを起動し、[設定] タブー [給与パターン] を開きます。
2. 給与パターンを選択して [変更] をクリックします。
3. 控除項目の空いている項目をダブルクリックで開きます。項目名に「年調調整額」を入力し、社会保険項目：空白、項目の種類：入力を選択して [確定] します

健康保険	厚生年金保険	厚生年金基金	雇用保険	社会保険合計	課税対象額	所得
旅行積立	財形貯蓄					

変更

項目名・属性: 社会保険項目: 項目の種類: 端数処理:

年調調整額 入力

4. 給与パターン／変更画面を [確定] で閉じます。
5. 複数の給与パターンがある場合は、それぞれで2.～4.の処理を行います。

2. プログラム対応予定について

2020年12月21日(月)9:00～ エプソン会計マイページにて公開いたします。

会計マイページよりダウンロードいただき、プログラムの再セットアップをお願いします。

以上、よろしくお願い申し上げます。